

2020年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年10月11日

上場会社名 株式会社 ウッドフレンズ 上場取引所 東 名
 コード番号 8886 URL <https://www.woodfriends.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 前田 和彦
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 笹原 利明 TEL 052-249-3504
 四半期報告書提出予定日 2019年10月15日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨)

1. 2020年5月期第1四半期の連結業績 (2019年6月1日～2019年8月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年5月期第1四半期	9,483	31.9	213	49.7	138	66.1	67	114.0
2019年5月期第1四半期	7,189	6.5	142	△41.8	83	△58.1	31	△75.5

(注) 包括利益 2020年5月期第1四半期 84百万円 (81.0%) 2019年5月期第1四半期 46百万円 (△67.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年5月期第1四半期	45.95	—
2019年5月期第1四半期	21.47	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年5月期第1四半期	27,902	6,308	21.2	4,061.90
2019年5月期	27,923	6,362	21.5	4,111.05

(参考) 自己資本 2020年5月期第1四半期 5,923百万円 2019年5月期 5,994百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年5月期	—	0.00	—	95.00	95.00
2020年5月期 (予想)	—	0.00	—	110.00	110.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年5月期の連結業績予想 (2019年6月1日～2020年5月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	19,500	25.0	520	5.2	345	△6.9	210	1.2	144.01
通期	40,700	14.6	1,370	23.5	1,030	27.6	650	21.5	445.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年5月期1Q	1,480,000株	2019年5月期	1,480,000株
② 期末自己株式数	2020年5月期1Q	21,778株	2019年5月期	21,778株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年5月期1Q	1,458,222株	2019年5月期1Q	1,458,222株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予測などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(自2019年6月1日至2019年8月31日)の概況は、以下のとおりであります。

① 当地域の不動産業界

- ・名古屋圏の都市部を中心として商業地・住宅地ともに地価上昇が続いております。名古屋駅周辺の開発に加え、近隣の伏見駅、栄駅周辺の開発が進み、更なる経済活性化に期待が高まっております。
- ・愛知県の新設住宅着工戸数は、前年から引き続き増加基調が続いております。分譲戸建住宅市場におきましては、住宅ローンの低金利等に支えられた住宅取得環境の下、需要増への期待から着工数が堅調に推移しております。短期的には、このような状況が続くと予想するとともに、市場での激しい競争が継続すると考えております。

② 当社の取り組み

- ・商品住宅として工業化と規格化を推進し、事業工期の短縮、品質の安定化を行うとともに、情報処理技術を用いた顧客データベースと、ヒューマンタッチな営業を融合させることによる販売差別化を推進しました。
- ・岐阜工場で生産する製品の物流拠点及び建築部品の工業化を推進するための拠点として、新たに取得した工場建屋の改修が完了しました。建築資材の更なる内製化を行い、商品の独自性を高めるとともに、生産性の向上、コスト改善に取り組んでまいります。
- ・余暇事業において、お客様の利便性向上を目的として、「ウッドフレンズ名古屋港ゴルフ倶楽部」のネット予約システム構築、ゴルフ場内のショップ改修工事を行いました。
- ・住宅建築で培った木造建築技術を応用した「HOTEL WOOD 高山」が完成、グランドオープンし、運営を開始しました。

③ 当第1四半期連結累計期間の業績

<連結業績>

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益
当第1四半期実績	9,483百万円	213百万円	138百万円	67百万円
前年同期比	31.9%増	49.7%増	66.1%増	114.0%増

<セグメントの実績>

a 住宅事業

戸建分譲住宅の開発・販売及び住宅建設資材の製造・販売。

	売上高	セグメント利益	前年同期比の主因
当第1四半期実績	8,684百万円	290百万円	販売戸数が増加し、売上高及び利益が増加。
前年同期比	32.8%増	96.7%増	

b 余暇事業

ゴルフ場及びホテル並びに公共施設の運営管理及び施設管理

	売上高	セグメント利益	前年同期比の主因
当第1四半期実績	591百万円	82百万円	「HOTEL WOOD 高山」運営開始に伴い売上高が増加したが、初期投資費用が発生し減益。
前年同期比	4.3%増	38.9%減	

c 都市事業

収益型不動産の開発並びに施設等の維持管理等

	売上高	セグメント利益	前年同期比の主因
当第1四半期実績	95百万円	7百万円	業績は概ね計画通り進捗。
前年同期比	28.6%増	13.6%増	

d その他の事業

上記以外の外部顧客への販売・サービスの提供

	売上高	セグメント損失	前年同期比の主因
当第1四半期実績	128百万円	△1百万円	宅地販売が増加し、売上高が増加。
前年同期比	215.1%増	—	

(注)当第1四半期会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、前年同期比については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較分析しております。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、現金及び預金の減少を主な要因として、前連結会計年度末と比較して21百万円減少し、27,902百万円となりました。

② 負債

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、リース債務の増加を主な要因として、前連結会計年度末と比較して32百万円増加し、21,593百万円となりました。

③ 純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、配当金の支払により利益剰余金が減少したこと等により、前連結会計年度末と比較して54百万円減少し、6,308百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年7月12日付の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,920,684	3,400,513
完成工事未収入金	234,150	104,514
売掛金	246,769	254,015
販売用不動産	8,319,908	8,816,088
仕掛販売用不動産	7,938,793	7,283,864
商品及び製品	385,390	258,136
未成工事支出金	1,962,903	2,050,392
仕掛品	134,959	138,450
原材料	245,118	249,971
その他	506,524	595,348
流動資産合計	23,895,203	23,151,295
固定資産		
有形固定資産	3,424,232	4,031,492
無形固定資産	90,450	118,149
投資その他の資産	513,894	601,245
固定資産合計	4,028,576	4,750,887
資産合計	27,923,780	27,902,182
負債の部		
流動負債		
工事未払金	2,083,837	1,703,602
買掛金	448,788	403,923
1年内償還予定の社債	244,000	244,000
短期借入金	10,664,223	11,059,484
1年内返済予定の長期借入金	2,472,298	2,074,375
未払法人税等	69,768	60,124
賞与引当金	132,728	66,149
役員賞与引当金	13,242	—
完成工事補償引当金	129,717	128,734
その他	720,800	967,815
流動負債合計	16,979,406	16,708,209
固定負債		
社債	468,000	408,000
長期借入金	3,233,658	3,295,356
退職給付に係る負債	2,551	2,701
役員退職慰労引当金	154,348	156,340
資産除去債務	13,226	30,414
その他	709,720	992,326
固定負債合計	4,581,504	4,885,139
負債合計	21,560,911	21,593,349

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	279,125	279,125
資本剰余金	284,956	284,956
利益剰余金	5,472,823	5,401,296
自己株式	△41,762	△41,762
株主資本合計	5,995,143	5,923,615
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△315	△465
その他の包括利益累計額合計	△315	△465
非支配株主持分	368,040	385,682
純資産合計	6,362,868	6,308,833
負債純資産合計	27,923,780	27,902,182

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2018年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年8月31日)
売上高	7,189,945	9,483,829
売上原価	6,226,403	8,373,009
売上総利益	963,541	1,110,819
販売費及び一般管理費	820,701	896,952
営業利益	142,840	213,866
営業外収益		
受取利息	9	389
受取手数料	5,938	5,730
補助金収入	6,253	6,648
その他	6,070	6,663
営業外収益合計	18,272	19,431
営業外費用		
支払利息	63,248	81,885
その他	14,748	13,370
営業外費用合計	77,997	95,256
経常利益	83,115	138,041
特別利益		
事業譲渡益	5,083	—
特別利益合計	5,083	—
特別損失		
固定資産除却損	2,132	—
特別損失合計	2,132	—
税金等調整前四半期純利益	86,066	138,041
法人税等	39,390	53,394
四半期純利益	46,675	84,646
非支配株主に帰属する四半期純利益	15,360	17,642
親会社株主に帰属する四半期純利益	31,315	67,003

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2018年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年8月31日)
四半期純利益	46,675	84,646
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1	△149
その他の包括利益合計	1	△149
四半期包括利益	46,676	84,496
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	31,316	66,853
非支配株主に係る四半期包括利益	15,360	17,642

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

① 簡便な会計処理

a 定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して計上する方法によっております。

b 繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等及び一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

② 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年6月1日 至 2018年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	住宅事業	余暇事業	都市事業	その他の 事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高							
外部顧客への売上高	6,539,739	566,198	65,769	18,238	7,189,945	—	7,189,945
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	543	8,832	22,451	31,827	△31,827	—
計	6,539,739	566,741	74,601	40,690	7,221,772	△31,827	7,189,945
セグメント利益	147,467	134,281	6,282	4,525	292,556	△149,716	142,840

(注) 1 「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、宅地販売、その他賃貸収入等が含まれております。

2 セグメント利益の調整額△149,716千円には、セグメント間取引消去2,579千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△152,296千円が含まれています。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年6月1日 至 2019年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	住宅事業	余暇事業	都市事業	その他の 事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高							
外部顧客への売上高	8,684,997	590,814	80,175	127,841	9,483,829	—	9,483,829
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	440	15,759	377	16,577	△16,577	—
計	8,684,997	591,255	95,934	128,218	9,500,406	△16,577	9,483,829
セグメント利益又は損失 (△)	290,111	82,078	7,137	△1,247	378,079	△164,212	213,866

(注) 1 「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、宅地販売、その他賃貸収入等が含まれております。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△164,212千円には、セグメント間取引消去6,386千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△170,599千円が含まれています。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より報告セグメントを従来の「住宅事業」「AM事業」「都市事業」「その他の事業」から「住宅事業」「余暇事業」「都市事業」「その他の事業」に変更しております。この変更は、「HOTEL WOOD 高山」運営開始により、経営管理上、事業業績区分の見直しを行ったことに伴い「AM事業」を「余暇事業」に名称を変更し、「その他の事業」に含まれていたホテル運営事業を「余暇事業」へ変更したものです。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の方法で作成したものを開示しております。